

作業療法学科(3年生)

専門課程(医療分野)

作 業 療 法 学 科								
区 分		科 目	規定単位	計 画	1学年	2学年	3学年	実務
				単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	教 育 学	14	2 (30)	2(30)			
		物 理 学		2 (30)	2(30)			
		医療倫理学		1 (15)	1(15)			
		医療統計学		2 (30)	2(30)			
		医学英語		2 (30)	2(30)			
		人間発達学		2 (30)	2(30)			
		人間関係論		7 (210)	3(90)	4(120)		○
	小 計		14	18 (375)	14(255)	4(120)		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解 剖 学	12	4 (60)	4(60)			
		運 動 学		4 (60)	4(60)			○
		機能解剖学		6 (120)	6(120)			○
		生 理 学		8 (120)	8(120)			
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	14	2 (30)	2(30)			
		病理学概論		2 (30)	2(30)			
		内 科 学		4 (60)	4(60)			
		整形外科学		4 (60)		4(60)		
		神経内科学		4 (60)	4(60)			
		精神医学		4 (60)	4(60)			○
		薬 理 学		2 (30)		2(30)		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	地域保健福祉学	4	2 (30)		2(30)		
医学概論		2 (30)		2(30)				
小 計		30	48 (750)	40(630)	8(120)			
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学	5	3 (90)	2(60)	1(30)		○
		作業療法概論		4 (60)	4(60)			○
		基礎作業療法学演習		5 (150)			5(150)	○
		専門作業療法学演習		5 (150)			5(150)	○
	作業療法管理学	作業療法管理学	2	2 (30)		2(30)		○
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ	5	4 (120)	4(120)			○
		作業療法評価学Ⅱ		4 (120)		4(120)		○
		臨床評価学		8 (240)		8(240)		○
	作業療法治療学	発達作業療法学	19	4 (60)		4(60)		○
		中枢神経作業療法学		4 (60)		4(60)		○
		末梢神経作業療法学		4 (60)		4(60)		○
		精神機能作業療法学		4 (60)		4(60)		○
		高齢期作業療法学		4 (60)		4(60)		○
		高次脳機能作業療法学		2 (30)		2(30)		○
		義肢装具学		3 (60)		3(60)		○
		地域作業療法学		社会生活行為学	4	3 (60)		3(60)
	地域作業療法学		3 (60)			3(60)		○
	臨 床 実 習	見学実習	22	1 (45)	1(45)			○
		地域実習		1 (45)		1(45)		○
		評価実習		3 (135)		3(135)		○
		臨床実習		18 (810)			18(810)	○
	小 計		57	89 (2505)	11(285)	50(1110)	28(1110)	
合 計		101	155 (3630)	65(1170)	62(1350)	28(1110)		

【授業概要】
作業療法の介入の根拠となる医学的知識をはじめとした知識を学び、専門作業療法学演習にて修得する作業療法の専門的知識の理解を促進していく。

【到達目標】
作業療法士国家試験問題「共通問題」に含まれる選択肢の意味を理解したうえで、類似問題の設問におおむね正答することができるようになる。作業療法士の臨床的基礎知識の定着を図る。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容		担当教員
1～7	解剖学	中枢神経（脳）、中枢神経（脊髄）、脳神経、脳血管、循環系、内臓諸器官、筋・靱帯、発生と組織 解剖学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
8～14	生理学	代謝、血液、免疫、循環、呼吸、消化と吸収、排泄、内分泌、女性の生理・妊娠・出産 筋、神経系、感覚と受容器、病理 生理学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
15～21	運動学	顔面、頭部・体幹、上肢、下肢、バイオメカニクス、姿勢、歩行、筋の収縮様式、運動学習 運動学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
22～27	模擬試験	国家試験形式の模擬試験と解説	全教員
28～34	内科学	膠原病、呼吸器疾患、腫瘍性疾患、循環器疾患、消化器疾患、代謝・内分泌疾患 内科学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
35～41	整形外科学	骨折、脱臼、末梢神経障害、脊髄・脊椎疾患および損傷、変形性膝関節症、小児整形外科疾患 切断、その他の整形外科疾患 整形外科学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
42～48	臨床神経医学	高次脳機能障害、脳・神経の病態生理、脳血管障害、神経疾患総論、認知症、変性疾患 自己免疫疾患、筋疾患 臨床神経医学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
49～54	模擬試験	国家試験形式の模擬試験と解説	全教員
55～58	リハビリテーション概論	医学概論、リスク管理、感染症 リハビリテーション概論の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
59～61	人間発達学 小児科学	高齢者の特徴、小児疾患、小児の運動発達 人間発達学、小児科学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
62～67	精神医学	症候学、統合失調症、気分障害、薬物療法、神経症性障害、小児の精神医学、てんかん パーソナリティ障害、行動症候群、その他の精神疾患 精神医学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
68～75	臨床心理学	防衛機制、障害受容、転移、記憶、発達心理、心理テスト、心理療法 臨床心理学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
76	筆記試験	評価基準を下記に記す	全教員

【授業外学修】 授業内で実施した試験問題の復習をしておくこと

【教科書名】 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2026 共通問題 （メディックメディア）

【参考図書】 必要に応じて資料配布する。
【評価基準】 基礎医学、臨床医学で履修済みの類似問題による筆記試験にて6割以上の得点にて単位認定する。
【実務経験】 作業療法士 臨床経験5年以上

【授業概要】

基礎作業療法学演習にて学んだ医学、医学関連知識を作業療法評価や作業療法介入に結びつけながら、作業療法専門の思考プロセスを経験し、作業療法実践の強化に繋げる。

【到達目標】

作業療法士専門の知識の定着・推測力を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容		担当教員
1~2	作業活動	道具、陶芸、作業活動の適用と実施、運動学習 作業活動の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
3~7	作業療法 概論	法規、法律、施設基準、障害者総合支援法、介護保険法、地域生活移行支援、就労支援 他 作業療法概論の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
8~12	評価法	関節可動域測定、徒手筋力テスト、感覚検査、Brunnstrom法、ADL評価、評価法総論 評価法の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
13~18	模擬試験	国家試験形式の模擬試験と解説	全教員
19~23	日常生活 活動	摂食・嚥下機能、自助具・福祉用具、住環境整備、車椅子、褥瘡予防、ポジショニング 日常生活活動の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
24~28	義肢装具	上肢装具の適用、上肢装具の作製、切断、義手の名称、義手のチェックアウト、筋電義手 他 義肢装具の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
29~33	老年期障害	生理的变化、認知症 老年期障害の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
34~39	模擬試験	国家試験形式の模擬試験と解説	全教員
40~44	脳血管障害	高次脳機能障害、外傷性脳損傷、脳出血・脳腫瘍病変、脳卒中（急性期、回復期）、片麻痺 脳血管障害の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
45~49	神経変性 筋障害	Parkinson病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症 他 神経変性・筋障害の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
50~54	内科学	呼吸器疾患、糖尿病、心疾患、運動療法、悪性腫瘍、緩和ケア 他 内科学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
55~60	模擬試験	国家試験形式の模擬試験と解説	全教員
61~65	脊髄損傷 整形外科疾患	ADL、関節リウマチの変形・生活指導、熱傷、末梢神経損傷、手根管症候群、筋・腱損傷 他 脊髄損傷・整形外科疾患の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
66~70	精神障害	心理検査、精神療法、統合失調症、気分障害、神経症性障害、パーソナリティ障害 他 精神障害の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
71~75	小児科学	正常発達、反射、脳性麻痺、発達検査、知的障害 小児科学の講義、作業療法士国家試験過去問の解説	全教員
76	筆記試験	評価基準を下記に記す	全教員

【授業外学修】 授業内で実施した試験問題の復習をしておくこと

【教科書名】 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2026 専門問題 (メディックメディア)

【参考図書】 必要に応じて資料配布する。

【評価基準】 基礎医学、臨床医学で履修済みの類似問題による筆記試験にて6割以上の得点にて単位認定する。

【実務経験】 作業療法士 臨床経験5年以上

【授業概要】
臨床実習施設に入院あるいは外来通院されている症例への臨床実習指導者の臨床介入場面に参加する

【到達目標】
臨床実習を通じて作業療法士の役割と基本的態度、チームアプローチの実際を学ぶ
対象者の改善課題整理と目標設定、必要なプログラム立案ができるように評価能力を身につける
プログラム実施を通じて治療・指導・援助ができる技能を身につける、プログラムの効果を判定する能力を身につける

授 業 内 容	
オリエンテーション	
事前学習	
情報収集	
評価計画立案	
評価実施（見学・模倣・実施）	
問題点の抽出	
問題点相互関係の整理・分析・焦点化	
目標設定	
治療計画立案	
治療の実施	
再評価	
症例報告	
実習の振り返り	
実技練習（OSCE 客観的臨床能力試験：仮想事例を利用した問題点・目標・治療計画立案）	

【授業外学修】 予習：実習に臨む前に、該当する教科書・資料等を確認し、必要な実技の練習を行う。（約1時間）
復習：実習内容を整理し、振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】 長期実習（前期：80点 後期：80点）平均点 ＋ 客観的臨床能力試験 計100点

【実務経験】 作業療法士、病院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加